

# 教科シラバス（公民科）

科目名	公共	履修学年	履修単位	履修形態	授業形態
		1	2	必履修	一 斉
<b>使用教科書・副教材・準備物</b>					
高等学校公共（帝国書院）・クローズアップ公共2023（第一学習社）					
<b>科目の概要</b>			<b>学習目標</b>		
人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を迫り解決したりする活動を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有意な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付けることがこの科目の基本的性格である。			<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。</li> <li>・現代社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力を養う。</li> <li>・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。</li> </ul>		
<b>年間学習プログラム</b>					
	<b>学習内容</b>	<b>学習のねらい</b>			
<b>1 学期</b>	第1部 私たちがつくる社会 第1章 社会の中の私たち 第1節 青年期と社会参画 第2節 宗教・思想・伝統文化と社会 第2章 思想から学ぶべきもの 第1節 倫理的な見方・考え方 第3章 私たちの社会の基本原則 第1節 社会の基本原則と憲法の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青年期や多様な性の在り方、キャリア形成、先哲思想などの学習の中で、自己と他者、自己と社会の関わりについて、自ら考えることができるようになる。</li> <li>・具体的な現代社会の課題を考えることで、幸福や正義、公正といった見方・考え方を身に付ける。</li> <li>・義務論や功利主義、「共有地の悲劇」や「囚人のジレンマ」といった選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について学習する。</li> </ul>			
<b>2 学期</b>	第2部 社会のしくみと諸課題 第1章 私たちと法 第1節 法の意義と司法参加 第2章 私たちと政治 第1節 民主社会と政治参加 第2節 国際政治の動向と平和の追求	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会において私たちに保障されている権利、法や規範が果たしている役割、社会の秩序を維持するためのしくみなどを学習する。</li> <li>・私たちの暮らす社会の成り立ちやしくみ、現代社会の課題について学習する。また、政治参加や公正な議論の形成の重要性、社会の中での個人の役割などについての理解を深め、主権者としてさまざまな課題を解決していくための力を身に付ける。</li> </ul>			
<b>3 学期</b>	第3章 私たちと経済 第1節 市場経済のしくみ 第2節 豊かな社会の実現 第3節 国際経済の動向と格差の是正 第3部 持続可能な社会の実現に向けて 課題探求学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済活動の意義や市場経済のしくみを理解し、いかにして市場経済を正常に機能させていくかを理解する。</li> <li>・公共的な空間における持続可能な社会の形成者としての資質・能力を身に付ける。</li> </ul>			
<b>評価の観点及び内容</b>					
<b>知識・技能</b>	選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめているか。	<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしているか。		
<b>思考・判断・表現</b>	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論しているか。				
<b>評価方法及びその他留意事項</b>					
定期考査、学習態度、課題、ノート・レポート提出を含め上記3つの観点から総合的に評価する。					